

# 平成22年度当初予算案の概要

## 目 次

1 予算案の規模	・・・	1
2 主な歳入の状況	・・・	2
3 歳出の状況（款別）	・・・	6
4 歳出の状況（性質別）	・・・	8
資料編	・・・	11
(参考)		
平成22年度当初予算編成方針（抜粋）	・・・	17

※資料の中で、億円単位で表示している数値は、億単位未満で端数調整を行っているため、増減など計算結果と一致しない場合があります。

# 1 予算案の規模

平成22年度当初予算案の規模は、

一般会計 2,667億円

特別会計 1,968億円

企業会計 860億円 総額 5,495億円となっています。

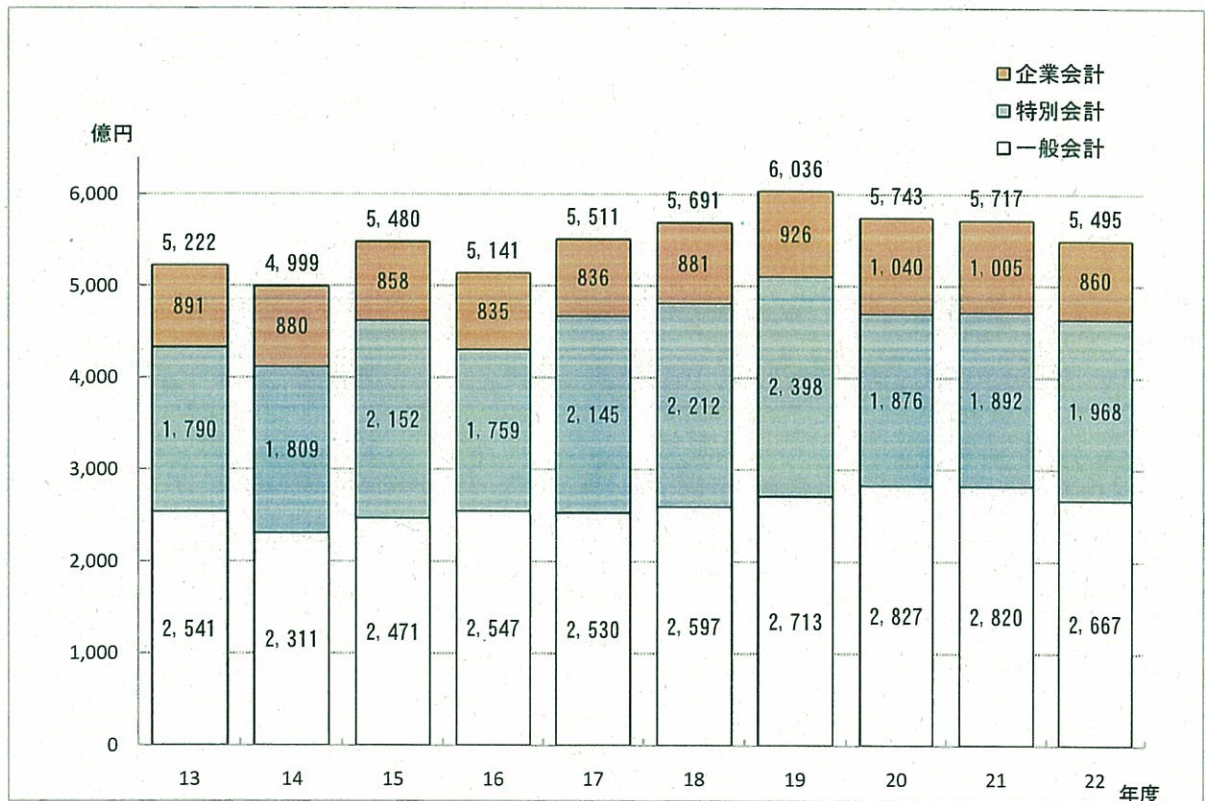
一般会計の規模は、前年度に比べ、153億円の減、率にして5.4%の減となり、2年続けての減となっています。

【全会計の予算案の規模】

(単位：億円 %)

	平成22年度	平成21年度	増減	増減率
一般会計	2,667	2,820	△153	△5.4
特別会計	1,968	1,892	76	4.0
企業会計	860	1,005	△144	△14.4
合計	5,495	5,717	△221	△3.9

【予算案の規模の推移】



## 2 主な歳入の状況

### (1) 市 税

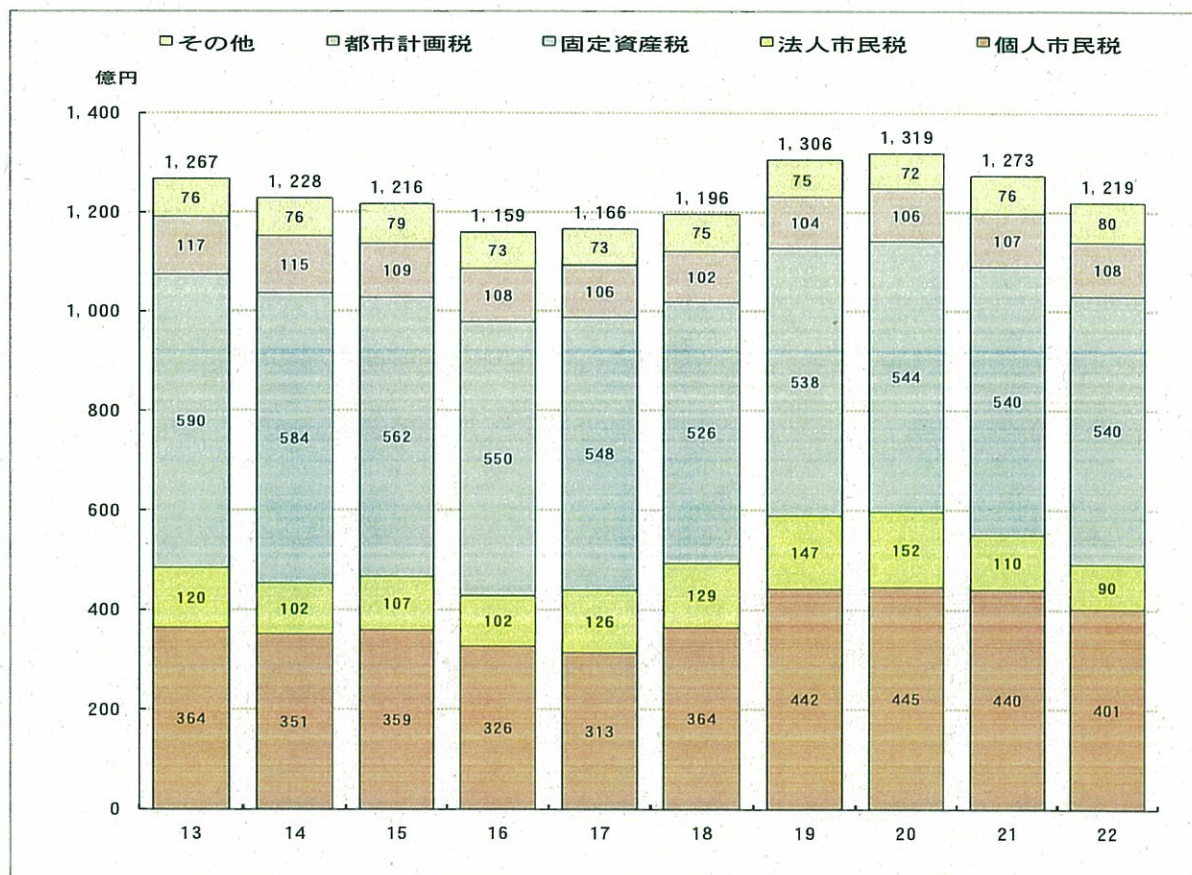
◎ 市税は、1, 219億円（対前年度比 △54億円 △4. 2%）

平成22年度の市税収入は、個人の雇用情勢や所得水準が厳しい状況であること、企業収益も持ち直しの傾向がみられるものの、依然として厳しい状況にあることなどにより、市民税が大幅に減少すると見込んでいます。市税は、この2年間で100億円の減少となります。

#### 【主な税目】

・ 個人市民税	401億円	(△39億円	△ 8. 9%)
・ 法人市民税	90億円	(△20億円	△17. 9%)
・ 固定資産税	540億円	(+ 0億円	+ 0. 0%)
・ 都市計画税	108億円	(+ 0億円	+ 0. 2%)

#### 【市税収入の推移（当初予算ベース）】



## (2) 地方交付税

◎ 地方交付税は、125億円（対前年度比 +21億円 +20.2%）

◎ 普通交付税の振替である臨時財政対策債を含めた実質的な地方交付税  
294億円（対前年度比 +86億円 +41.3%）

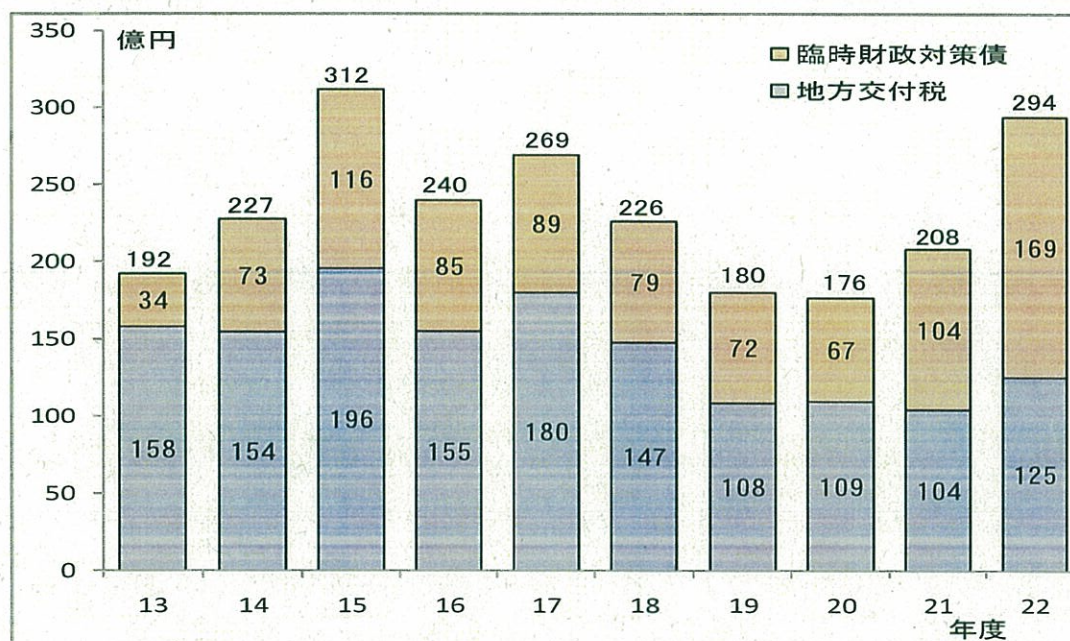
地方交付税は、125億円で前年度比21億円の増と見込んでいます。  
また、普通交付税の振替である臨時財政対策債は、169億円で前年度  
比65億円の増と見込んでいます。

【地方交付税】

(単位：億円 %)

	平成22年度	平成21年度	増減	増減率
地方交付税	125	104	21	20.2
うち普通交付税	116	95	21	22.1
うち特別交付税	9	9	0	0.0
臨時財政対策債	169	104	65	62.5
実質的な交付税	294	208	86	41.3

【地方交付税の推移】



※ 平成13年度から20年度までは決算額、21年度・22年度は当初予算額

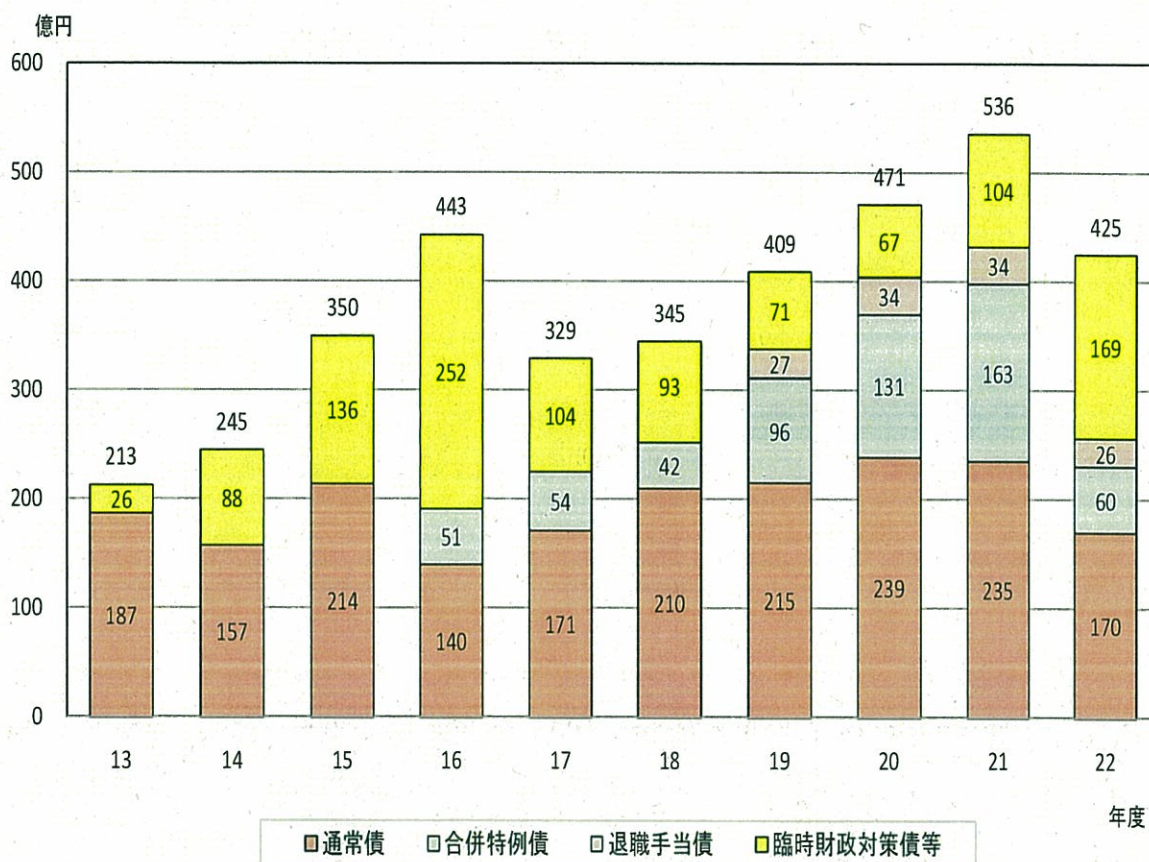
### (3) 市 債

◎ 市債は、425億円（対前年度比 △111億円 △20.7%）

投資的経費の減により、合併特例債を含めた通常の建設債は168億円の減となりましたが、臨時財政対策債が65億円の増となったことなどにより、全体として111億円の減となりました。

この結果、市債依存度は、15.9%となり、前年度比3.1%の減となっています。

【市債発行額の推移（当初予算ベース）】



※臨時財政対策債等は、臨時財政対策債・減税補てん債・N T T無利子貸付金

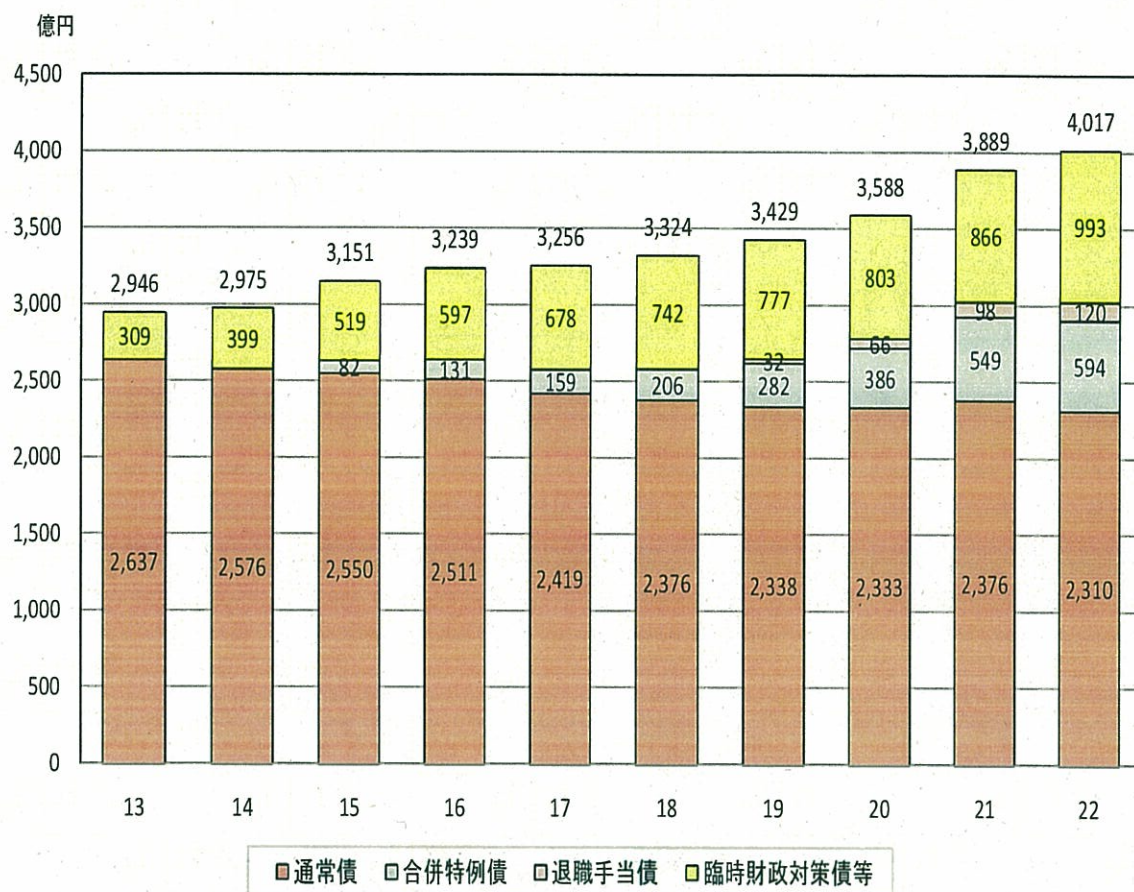
※平成16年度の臨時財政対策債等には、平成7年度・8年度に発行した減税補てん債の借換分（152億円）を含む

※平成20年度・21年度の通常債には、公的資金補償金免除繰上償還に係る借換債（平成20年度23億円、平成21年度24億円）を含む

◎ 市債残高は、4,017億円（22年度末見込み）

合併特例債を含めた通常の建設債は、21億円の減となる見込みですが、普通交付税の振替である臨時財政対策債が127億円の増となる見込みで、全体として4,017億円で、128億円の増となる見込です。

【市債残高の推移】

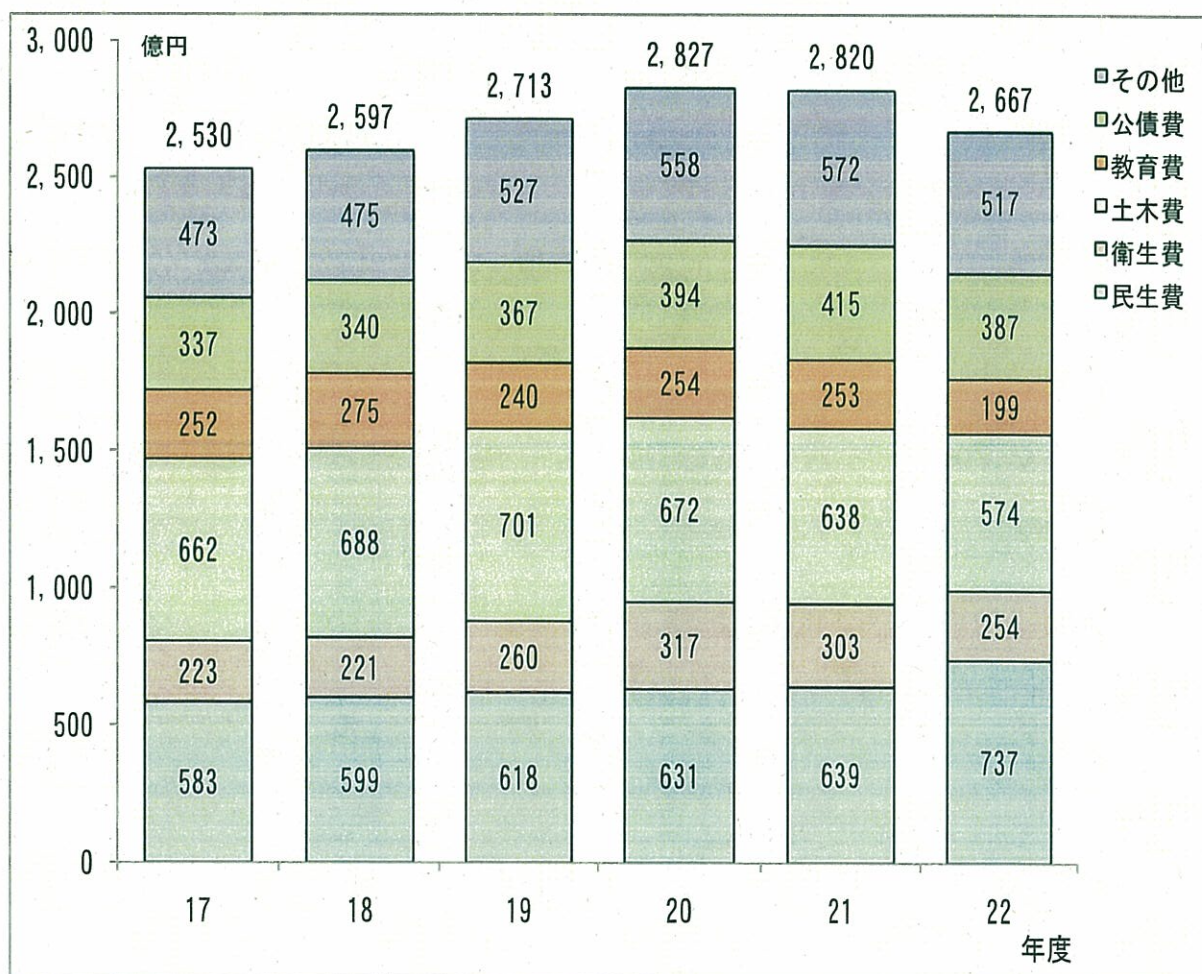


### 3 歳出の状況（款別）

◎ 主な款別歳出の増減

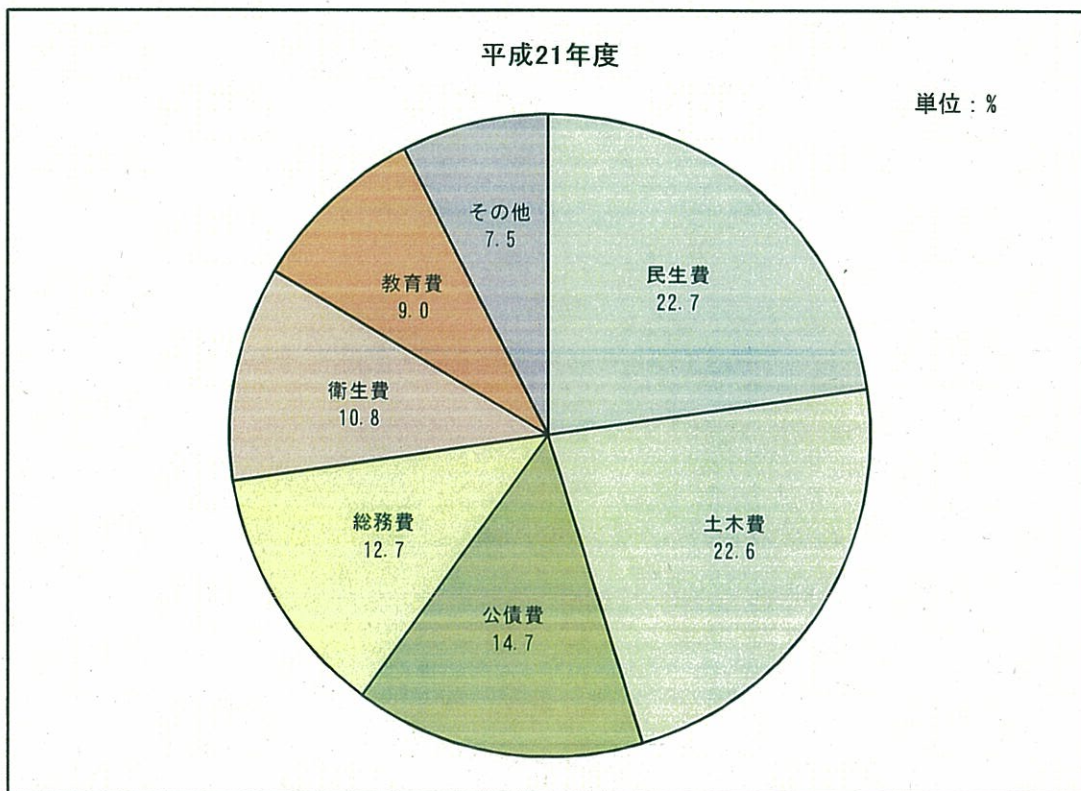
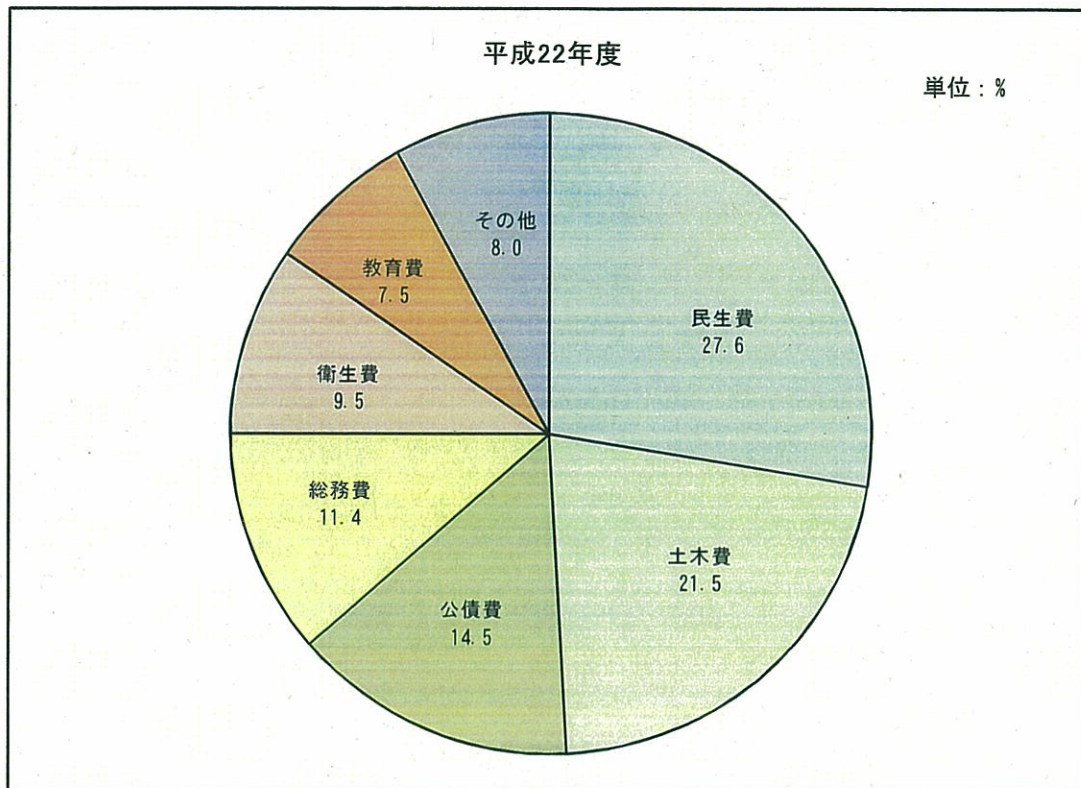
- ・ 民生費  
子ども手当や生活保護費などの増
- ・ 衛生費  
西ヶ谷清掃工場建設費などの減
- ・ 土木費  
紺屋町再開発事業補助金、大谷土地区画整理事業費や道路関係経費などの減
- ・ 教育費  
小中学校の校舎・体育館の耐震化などに要する経費の減
- ・ 公債費  
補償金免除繰上償還額などの減

【款別歳出の推移（当初予算ベース）】





【款別歳出の構成比の比較（当初予算ベース）】



## 4 歳出の状況（性質別）

### （1）義務的経費

◎ 義務的経費は、1,348億円（対前年度比 +58億円 +4.5%）

人件費は給与改定や定員管理など、公債費は補償金免除繰上償還などの影響により、減となったものの、子ども手当の新設などにより扶助費が大幅に増したことにより、義務的経費は、全体で58億円の増となっています。

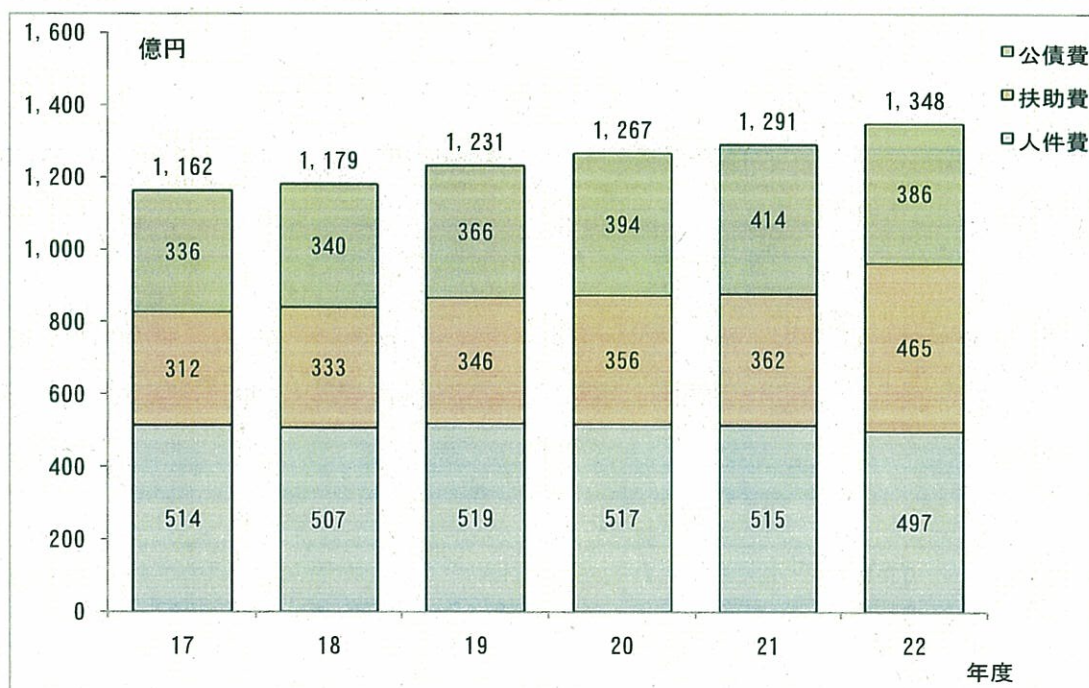
義務的経費の割合 50.6%（前年度比 +4.8%）

#### 【義務的経費】

（単位：億円 %）

	平成22年度	平成21年度	増減	増減率
人件費	497	515	△18	△3.5
扶助費	465	362	103	28.5
公債費	386	414	△28	△6.7
合計	1,348	1,291	58	4.5

#### 【義務的経費の推移（当初予算ベース）】



## (2) 投資的経費

◎ 投資的経費は、502億円(対前年度比 △217億円 △30.2%)

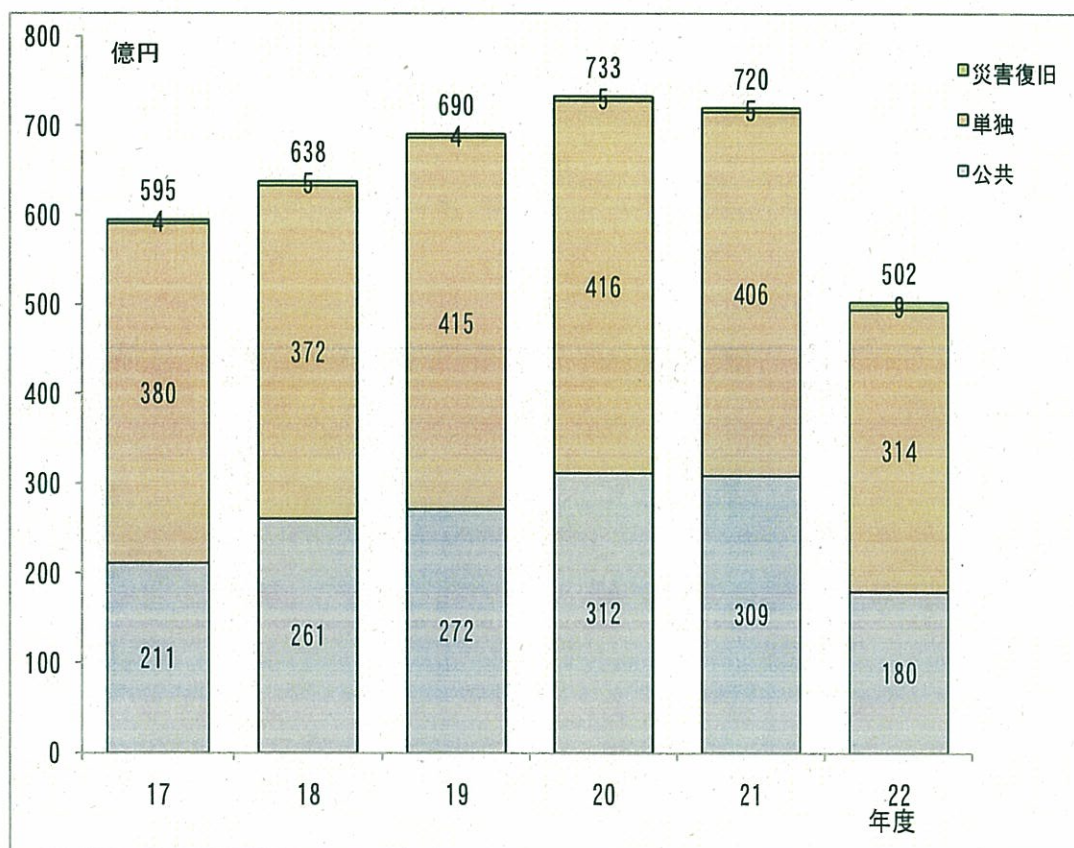
投資的経費は、西ヶ谷清掃工場建設事業、小中学校の耐震化事業、市立美術館建設事業、蒲原生涯学習センター建設事業、紺屋町再開発事業補助金などが完了したことなどにより、公共事業では129億円の減、単独事業では92億円の減など、全体では217億円の減となっています。

### 【投資的経費】

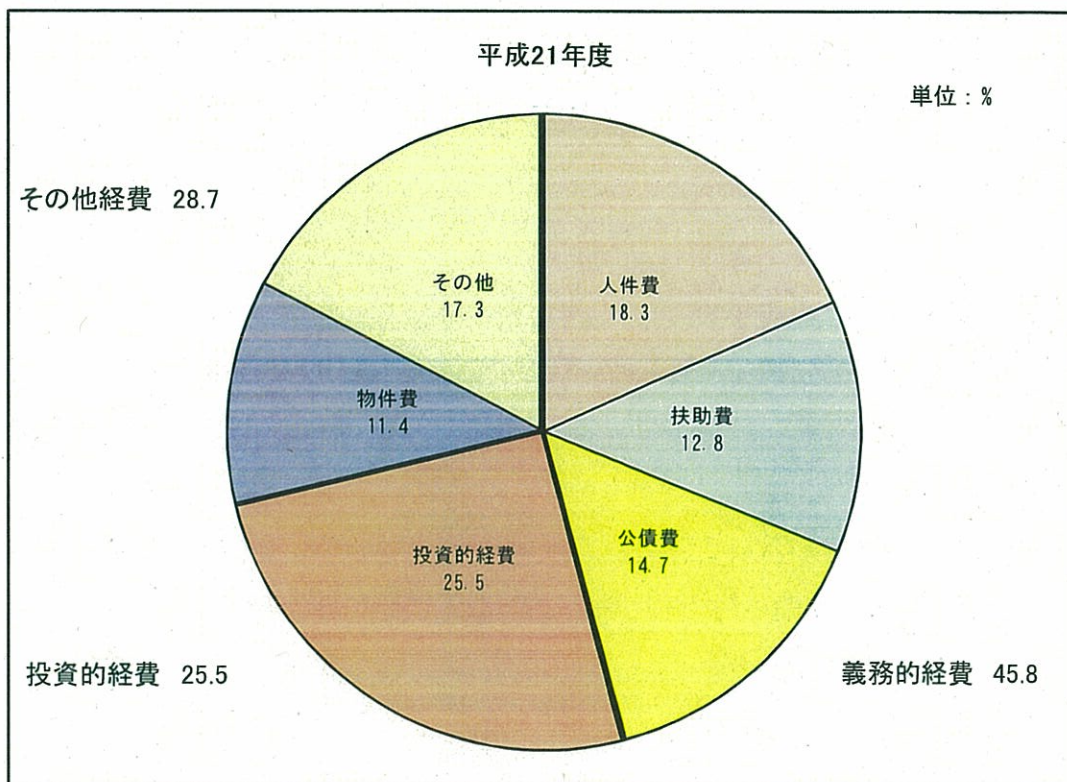
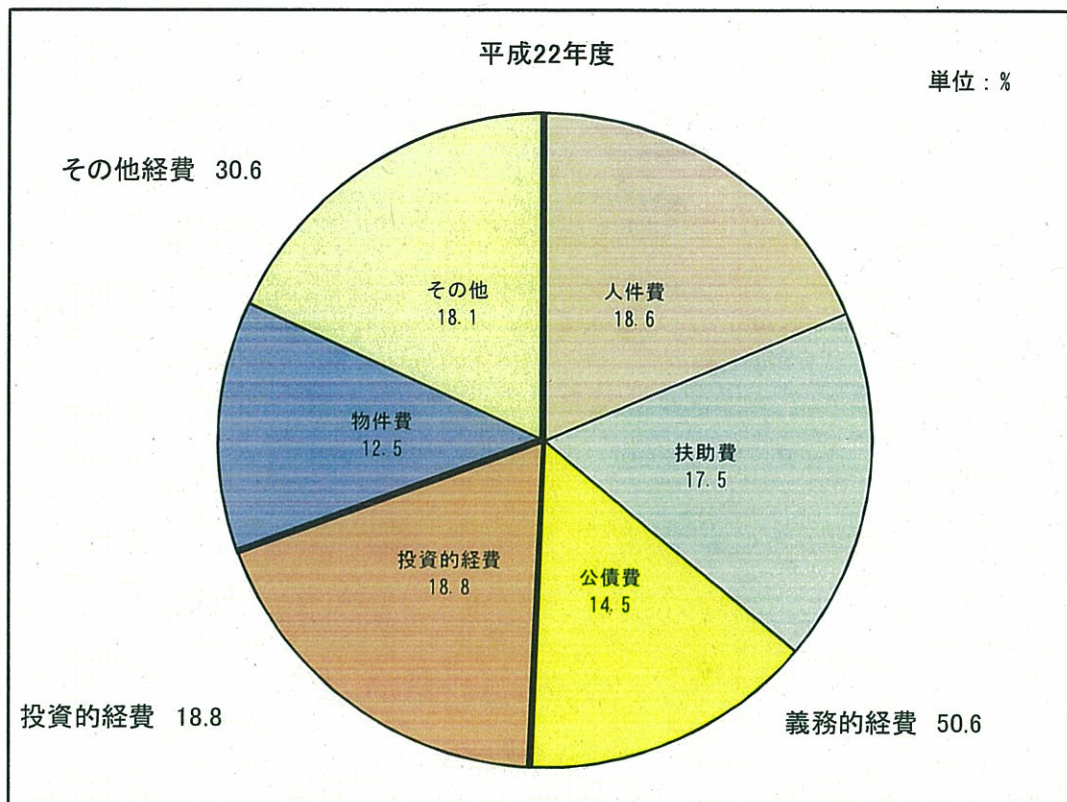
(単位：億円 %)

	平成22年度	平成21年度	増減	増減率
普通建設	494	715	△221	△30.9
うち公共	180	309	△129	△41.9
うち単独	314	406	△92	△22.6
災害復旧	9	5	4	78.6
合計	502	720	△217	△30.2

### 【性質別歳出の構成比の比較（当初予算ベース）】



【性質別歳出の構成比の比較（当初予算ベース）】



# 1 予算規模

区 分		平成22年度	平成21年度	比較増減	
				金 額	増減率
		千円	千円	千円	%
一 般 会 計		266,700,000	282,000,000	△ 15,300,000	△ 5.4
特 別 会 計	電気事業経営記念基金会計	944,000	554,000	390,000	70.4
	土地区画整理清算金会計	4,300	4,600	△ 300	△ 6.5
	母子寡婦福祉資金貸付金会計	358,900	390,000	△ 31,100	△ 8.0
	公債管理事業会計	38,756,300	41,461,800	△ 2,705,500	△ 6.5
	競輪事業会計	31,033,000	23,352,000	7,681,000	32.9
	国民健康保険事業会計	70,142,500	69,576,900	565,600	0.8
	簡易水道事業会計	421,500	445,800	△ 24,300	△ 5.5
	老人保健医療事業会計	45,700	146,500	△ 100,800	△ 68.8
	農業集落排水事業会計	250,000	590,800	△ 340,800	△ 57.7
	清掃工場発電事業会計	509,000	496,000	13,000	2.6
	駐車場事業会計	318,000	387,200	△ 69,200	△ 17.9
	介護保険事業会計	46,697,500	44,461,100	2,236,400	5.0
	介護保険サービス会計	56,800	55,900	900	1.6
	中央卸売市場事業会計	796,000	882,600	△ 86,600	△ 9.8
後期高齢者医療事業会計	6,445,800	6,394,500	51,300	0.8	
計		196,779,300	189,199,700	7,579,600	4.0
企 業 会 計	病院事業会計	29,159,000	29,868,000	△ 709,000	△ 2.4
	水道事業会計	18,195,000	17,898,000	297,000	1.7
	下水道事業会計	38,682,000	52,694,000	△ 14,012,000	△ 26.6
	計	86,036,000	100,460,000	△ 14,424,000	△ 14.4
合 計		549,515,300	571,659,700	△ 22,144,400	△ 3.9

## 2 歳入の状況

### 一般会計

区 分	平成22年度		平成21年度		比較増減		
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	
	千円	%	千円	%	千円	%	
自 主 財 源	市 税	121,900,000	45.7	127,300,000	45.1	△ 5,400,000	△ 4.2
	分担金及び負担金	3,022,059	1.2	3,009,028	1.1	13,031	0.4
	使用料及び手数料	7,016,279	2.6	7,044,931	2.5	△ 28,652	△ 0.4
	財産収入	1,144,488	0.4	1,449,572	0.5	△ 305,084	△ 21.0
	寄附金	2,100	0.0	2,261	0.0	△ 161	△ 7.1
	繰入金	5,270,209	2.0	8,266,544	2.9	△ 2,996,335	△ 36.2
	繰越金	1,500,000	0.6	3,000,000	1.1	△ 1,500,000	△ 50.0
	諸収入	5,386,974	2.0	5,797,670	2.1	△ 410,696	△ 7.1
	(うち競輪益金)	500,000	(0.2)	1,000,000	(0.4)	△ 500,000	△ 50.0
(うち宝くじ収益金)	2,100,000	(0.8)	2,230,000	(0.8)	△ 130,000	△ 5.8	
計	145,242,109	54.5	155,870,006	55.3	△ 10,627,897	△ 6.8	
依 存 財 源	地方譲与税	2,517,000	0.9	2,653,000	0.9	△ 136,000	△ 5.1
	利子割交付金	400,000	0.2	563,000	0.2	△ 163,000	△ 29.0
	配当割交付金	132,000	0.0	153,000	0.0	△ 21,000	△ 13.7
	株式等譲渡所得割交付金	76,000	0.0	68,000	0.0	8,000	11.8
	地方消費税交付金	7,072,000	2.7	7,804,000	2.8	△ 732,000	△ 9.4
	ゴルフ場利用税交付金	33,000	0.0	33,000	0.0	0	0.0
	特別地方消費税交付金	100	0.0	100	0.0	0	0.0
	自動車取得税交付金	1,076,000	0.4	1,304,000	0.5	△ 228,000	△ 17.5
	軽油引取税交付金	5,220,000	2.0	5,789,000	2.0	△ 569,000	△ 9.8
	地方特例交付金	1,388,000	0.5	1,439,000	0.5	△ 51,000	△ 3.5
	地方交付税	12,500,000	4.7	10,400,000	3.7	2,100,000	20.2
	交通安全対策特別交付金	424,000	0.2	435,400	0.2	△ 11,400	△ 2.6
	国庫支出金	36,390,461	13.6	31,754,029	11.3	4,636,432	14.6
	県支出金	11,744,130	4.4	10,157,265	3.6	1,586,865	15.6
	市債	42,485,200	15.9	53,577,200	19.0	△ 11,092,000	△ 20.7
計	121,457,891	45.5	126,129,994	44.7	△ 4,672,103	△ 3.7	
合 計	266,700,000	100.0	282,000,000	100.0	△ 15,300,000	△ 5.4	

### 3 市税の状況

区 分	平成22年度		平成21年度		比較増減	
	金額 千円	構成比 %	金額 千円	構成比 %	金額 千円	増減率 %
市 民 税	49,093,000	40.3	54,980,000	43.2	△ 5,887,000	△ 10.7
個人市民税	40,080,000	32.9	44,000,000	34.6	△ 3,920,000	△ 8.9
法人市民税	9,013,000	7.4	10,980,000	8.6	△ 1,967,000	△ 17.9
固 定 資 産 税	54,023,000	44.3	54,000,000	42.4	23,000	0.0
固定資産税	53,689,000	44.0	53,650,000	42.1	39,000	0.1
国有資産等所在市交付金 及び納付金	334,000	0.3	350,000	0.3	△ 16,000	△ 4.6
軽 自 動 車 税	1,030,000	0.9	1,000,000	0.8	30,000	3.0
市 た ば こ 税	4,000,000	3.3	4,030,000	3.2	△ 30,000	△ 0.7
鉦 産 税	30	0.0	30	0.0	0	0.0
特 別 土 地 保 有 税	600	0.0	1,850	0.0	△ 1,250	△ 67.6
入 湯 税	25,370	0.0	28,120	0.0	△ 2,750	△ 9.8
事 業 所 税	2,977,000	2.4	2,530,000	2.0	447,000	17.7
都 市 計 画 税	10,751,000	8.8	10,730,000	8.4	21,000	0.2
合 計	121,900,000	100.0	127,300,000	100.0	△ 5,400,000	△ 4.2

## 4 歳出の状況(款別)

### 一般会計

区 分	平成22年度		平成21年度		比較増減	
	金額 千円	構成比 %	金額 千円	構成比 %	金額 千円	増減率 %
議 会 費	1,052,841	0.4	1,077,624	0.4	△ 24,783	△ 2.3
総 務 費	30,407,292	11.4	35,894,772	12.7	△ 5,487,480	△ 15.3
民 生 費	73,664,132	27.6	63,920,165	22.7	9,743,967	15.2
衛 生 費	25,370,022	9.5	30,337,010	10.8	△ 4,966,988	△ 16.4
労 働 費	701,863	0.3	665,561	0.2	36,302	5.5
農林水産業費	4,711,885	1.8	5,173,189	1.8	△ 461,304	△ 8.9
商 工 費	5,422,970	2.0	4,938,708	1.7	484,262	9.8
土 木 費	57,378,878	21.5	63,847,406	22.6	△ 6,468,528	△ 10.1
消 防 費	8,242,413	3.1	8,650,401	3.1	△ 407,988	△ 4.7
教 育 費	19,863,435	7.5	25,255,951	9.0	△ 5,392,516	△ 21.4
災 害 復 旧 費	861,101	0.3	482,127	0.2	378,974	78.6
公 債 費	38,738,600	14.5	41,457,700	14.7	△ 2,719,100	△ 6.6
諸 支 出 金	84,568	0.0	99,386	0.0	△ 14,818	△ 14.9
予 備 費	200,000	0.1	200,000	0.1	0	0.0
合 計	266,700,000	100.0	282,000,000	100.0	△ 15,300,000	△ 5.4



## 5 歳出の状況(性質別)

### 一般会計

区 分		平成22年度		平成21年度		比較増減	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
		千円	%	千円	%	千円	%
義務的経費	人件費	49,680,701	18.6	51,483,084	18.3	△ 1,802,383	△ 3.5
	扶助費	46,520,031	17.5	36,197,590	12.8	10,322,441	28.5
	公債費	38,631,843	14.5	41,398,869	14.7	△ 2,767,026	△ 6.7
	計	134,832,575	50.6	129,079,543	45.8	5,753,032	4.5
投資的経費	普通建設費	49,380,142	18.5	71,490,829	25.3	△ 22,110,687	△ 30.9
	(公共)	17,952,848	6.7	30,895,897	10.9	△ 12,943,049	△ 41.9
	(単独)	31,427,294	11.8	40,594,932	14.4	△ 9,167,638	△ 22.6
	災害復旧費	861,101	0.3	482,127	0.2	378,974	78.6
計	50,241,243	18.8	71,972,956	25.5	△ 21,731,713	△ 30.2	
その他	物件費	33,391,286	12.5	32,170,430	11.4	1,220,856	3.8
	維持補修費	3,092,699	1.2	3,274,819	1.2	△ 182,120	△ 5.6
	補助費等	17,273,790	6.5	17,741,083	6.3	△ 467,293	△ 2.6
	積立金	36,222	0.0	122,439	0.0	△ 86,217	△ 70.4
	出資金・貸付金	477,408	0.2	282,536	0.1	194,872	69.0
	繰出金	27,354,777	10.2	27,356,194	9.7	△ 1,417	△ 0.0
計	81,626,182	30.6	80,947,501	28.7	678,681	0.8	
合 計		266,700,000	100.0	282,000,000	100.0	△ 15,300,000	△ 5.4

※ 「繰出金」には、病院事業会計への負担金及び補助金、水道事業会計への負担金及び補助金、下水道事業会計への負担金、補助金及び出資金を含む。

## 6 当初予算の推移

区分	一般会計		地財計画 伸率	特別・企業会計		合計	
	金額 千円	伸率 %		金額 千円	伸率 %	金額 千円	伸率 %
平成13	254,105,589	2.3	0.4	268,127,522	6.4	522,233,111	4.4
14	231,067,554	△ 9.1	△ 1.9	268,856,334	0.3	499,923,888	△ 4.3
15	247,088,650	6.9	△ 1.5	300,924,338	11.9	548,012,988	9.6
16	254,664,757	3.1	△ 1.8	259,443,589	△ 13.8	514,108,346	△ 6.2
17	252,956,909	△ 0.7	△ 1.1	298,163,982	14.9	551,120,891	7.2
18	259,714,352	2.7	△ 0.7	309,340,626	3.7	569,054,978	3.3
19	271,277,000	4.5	0.0	332,340,137	7.4	603,617,137	6.1
20	282,701,000	4.2	0.3	291,631,600	△ 12.2	574,332,600	△ 4.9
21	282,000,000	△ 0.2	△ 1.0	289,659,700	△ 0.7	571,659,700	△ 0.5
22	266,700,000	△ 5.4	△ 0.5	282,815,300	△ 2.4	549,515,300	△ 3.9

※ 平成17年度以前の予算額は旧蒲原町分を含み、平成20年度以前の予算額は旧由比町分を含む。

## 平成 22 年度当初予算編成方針(平成 21 年 10 月 1 日付け通知抜粋)

### 1 本市の財政状況

平成 20 年度一般会計決算では、実質収支は 51 億円（うち 30 億円は、平成 21 年度当初予算の歳入予算に繰越金として計上済み）の黒字となったが、経常収支比率（税などの経常一般財源を人件費、扶助費、公債費などの経常的事業で使っている割合）は 90.9%に上昇し、財政の硬直化が進んでいる。（平成 15 年度：81.7%、平成 16 年度：85.6%、平成 17 年度：81.1%、平成 18 年度：83.5%、平成 19 年度：87.3%）

一方、平成 21 年度の当初予算編成では 54 億円の財源不足が生じ、財政調整基金の大幅な取り崩しなど基金繰入れにより対処したところであるが、現時点では、市税が景気後退により 46 億円減少するとした当初予算計上額をさらに大幅に下回る見通しであり、平成 20 年度と比較すると一般財源総額は一層減少すると見込まれる。

また、財政調整基金などの基金残高は年々減少しており、基金取り崩しによる財源不足対応が難しくなってきたおり、歳出の抑制と歳入増が急務となっている。

こうした中、平成 22 年度予算編成に当たっては、歳入の太宗をなす市税が景気低迷の影響を大きく受け、一般財源の増は見込みにくい状況にある。また、義務的経費においては、人件費が定員管理計画の推進により減少する見込みであるものの、生活保護費をはじめとする扶助費の増加などにより必要となる一般財源の額が増加しており、少子高齢化への対応、社会資本整備などの義務的経費以外の事業に振り向けられる一般財源は減少することとならざるを得ない。

こうしたことから、歳入の確保と歳出の徹底した見直しを行う等効率化への更なる取組みがなければ、予算を編成できない状況にある。

## 2 基本方針

平成 22 年度予算は簡素にして効率的な行財政運営を旨とし、徹底した節減合理化を図る中で、第 2 次総合計画の初年度に当たり、本市の着実な発展を目指し、財政の健全性の確保に十分留意しつつ、以下の基本方針のもと予算編成を行う。

### ① 第 2 次総合計画に沿った予算の重点配分

第 2 次総合計画における政策体系に基づき、真に本市の発展に繋がる施策・事業を中心に効率的な予算配分を行う。

特に、政策形成会議において、平成 22 年度の重要政策に位置付けられた、次の 4 つの柱に資する施策・事業に必要な予算を確保する。

ア 世界に輝く「静岡」の創造に向けた第 2 次総合計画の始動

イ 安全・安心な都市（まち）の実現

ウ 新たな成長産業の創出

エ 国と地方の枠組み変化への対応

### ② 新たな行財政改革推進大綱実施計画の確実な実施

歳入の確保と歳出の徹底した見直しを行い、行財政運営の効率化を加速するため、新たな行財政改革推進大綱実施計画に基づく取組みを的確に予算に反映させる。